

新刊紹介

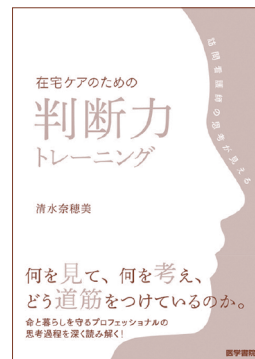
|||||

在宅ケアのための判断力トレーニング

訪問看護師の思考が見える

著 清水奈穂美
発行 医学書院
定価 2200円(本体2000円+税10%)

訪問看護師は、在宅医療の複雑な状況下で、何を見て、何を考え、どう道筋をつけてケアを組み立てるのか。そしてどう動き、何に備えるのか。本書は、最前線で命と暮らしを守る訪問看護師の思考のプロセス、最善策を導く意思決定の共有を読み解きながら、現場で求められる判断力を鍛えるトレーニング法を示す。



健康格差社会 第2版

何が心と健康を蝕むのか

著 近藤克則
発行 医学書院
定価 2860円(本体2600円+税10%)

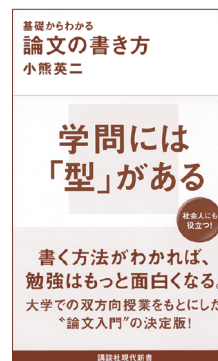
日本にもある健康格差を放置すべきでないと、社会疫学を基盤に早期警告を発した初版から17年。新たに蓄積された科学的な知見や動向を追加し、健康の社会的決定要因による健康格差生成のプロセスがどこまで実証されてきたのか、その到達点を描く。経済格差が拡大するなか、健康格差の理解に最適な書。



基礎からわかる 論文の書き方 (講談社現代新書)

著 小熊英二
発行 講談社
定価 1320円(本体1200円+税10%)

理系、文系の論文に精通した気鋭の社会学者が、学生と対話形式で行うアカデミック・ライティング(論文の書き方、研究の進め方中心)の講義をもとに、分野を超えた共通の「論文の書き方」を解説した入門書。論理的な文章の書き方指導とは異なり、思考力、想像力を高め、科学的思考を駆使した論文作法を伝授する。



病院覚え書き 第3版

著 フロレンス・ナイティンゲール
訳 小玉香津子
発行 日本看護協会出版会
定価 3190円(2900円+税10%)

『看護覚え書き』と並ぶナイティンゲールの代表著作『病院覚え書き』(原書第3版)を、日本で初めて完全翻訳。戦地クリミアで英国軍病院の実態を目の当たりにし、病院環境の重要性に気づいたナイティンゲールが、病院の建築と管理についての理論を提示する。原書所収の病院建築図面や病院統計の表も掲載。

